

【資料3】

平成26年度

花巻市男女共同参画基本計画見直しにかかる意見交換会(第1回)団体発言要旨

日 時：平成26年11月25日(火) 午前10時～正午

場 所：花巻市生涯学園都市会館女性団体活動交流スペース

【出席団体・参加人数】7団体16名

花巻市交通安全母の会連合会 2名、花巻市母親連絡会 3名、花巻市地域婦人団体協議会 2名、花巻市老人クラブ連合会花巻支部女性部 1名、花巻農業協同組合花巻地域女性部 3名、新日本婦人の会花巻支部 2名、女性センターを実現する会 3名

【主な意見等】

- ・農協の現状は、女性の正組合員や理事・参与を増やすため枠を設けている。そのため、以前よりは進んできている。女性総代も全体の10%を目標として地域ごとに頑張っている。しかし、話し合いの時点で女性が入っていない状況にある。女性自身にも、自分が役をやっただけでなく、後継者のために道を開いてやるような努力なりが不足している。女性自身にも課題があると感じている。本人の意識と周囲の後押しが大事。農協の支店長は、26支店中、女性の支店長は10名。あらゆる面で男性女性が半々になることで、お互いに住みやすい地域、働きやすい農協ができるのではないかと思う。(JA女性部 葛巻)
- ・今は、男性女性だけの性別だけではないと取り上げられる時代になった。現計画を立てた時点ではそういう思いがなかった。男女の差別というか、性別の差別を。計画の基本理念に入れてほしい。女性がすべて産む性としてのとらえ方をやめるべきではないか。(女性センターを実現する会 穂高)
- ・国会で女性の身体に関する資料で産むべき性を目的としてとらえています。女性が生きたいという気持ちから、基本理念から削除してほしい。男性は経済的に自立が要求される。女性にはいろいろな問題がある。基本理念の男女の精神的・経済的・生活的自立に男女を入れるのは問題がある。防災会議の中では女性委員が1・2人しかいないので意見が言いにくい状況にある。担当職員も女性のところがある。学校現場では「父兄」という言葉が使われているが「父兄」という言葉がなぜおかしいかわかっていない。子どもの虐待を出さないことに力を入れてほしい。市の審議会の募集には意識的に男女が入るようにしてほしい。男女共同参画の意識啓発と様々な制度を連携させて進めてほしい。(女性センターを実現する会 佐藤)

- ・まちづくりに参加する市民の割合は81.2%であるが自分の地区では参加する女性は少ない。(交通安全母の会 伊藤)
- ・市政懇談会でも女性の参加者が少ない。コミュニティ会議の役員も男性が多い。男女共同参画推進員に男性が少ない。(JA 女性部 葛巻)
- ・コミュニティ会議は女性がいない。まちづくりがなぜ男女共同参画なのか視点が見えない。市の部署から男女共同参画係がなくなったのは市民に訴える力が弱い。女性団体ネットワークの会から審議会に団体推薦することがいいのではないか。(女性センターを実現する会 穂高)
- ・先進国ではクォータ制をとっているところがほとんどでそこは必要だと思う。(女性センターを実現する会 佐藤)
- ・地域婦人団体協議会では、男女共同参画を推進していくことを毎年行っている。ボランティアなどへの参加については、もっとPRしていけばもっとできると思う。子どもの居場所づくりについても小さな単位で作ったり、PRしていけば100%に近づけることは不可能ではないと思う。(地域婦人団体協議会 小原)
- ・成果指標は、途中で変わったりしないよう留意する必要がある。年度途中で男女共同参画の担当者が変わるのは好ましくない。(交通安全母の会 日下)
- ・女性が我慢して暮らしているのが見えていないのではないか。生活が少しでも良くなるような政策などを実施してほしいし応援したい。このような会議を何回も開き意見を聞き、政策に反映させることが必要だと思う。(母親連絡会 藤井)
- ・自分は男女共同参画の意識が低く、市政懇談会などにもっと参加すれば行政がわかると反省している。自分の地域をまずは変えていきたい。(老人クラブ連合会女性部 小松原)
- ・国の政策変更などにより計画を見直さなければならない時には見直すようにしてほしい。(女性センターを実現する会 佐藤)
- ・広報に掲載している男女共同参画に関する記事を充実して行ってほしい。「父兄」や「主人」などの言葉にも気を付けるきっかけになればいいと思う。(女性センターを実現する会 穂高)

- ・子ども課など市の各課でももっと連携をしてほしい。
(女性センターを実現する会 佐藤)
- ・男女共同参画に対する市民などの熱が冷めてしまっているような気がする。今は、意識的に言葉は知っているが男女平等や男女共同参画は違った観点でみんなが知っていることで、このようなアンケートの数値になっているのではないか。
(交通安全母の会 伊藤)
- ・男女共同参画について言葉などの表向きにはわかっているが、実際の生活では行動が伴っていないことがある。アンケートだけでなくいろいろな方法で計画していけばいいと思う。男女共同参画推進員もいろんな人たちにやっていただくことで男女共同参画が浸透していくと思う。(JA 女性部 葛巻)
- ・市職員の上層部の男女の割合はどうなっているのか。女性たちには意欲を持って仕事をできる方がたくさんいるのに取り組めない状況が何かあったのか。条件づくりをやっていないかと思う。(新日本婦人の会 多田)
- ・市役所で男性は8時まで残業できて女性はできないというアンバランスを改善していくべきである。男女共同参画は公務員は認識されているが一般企業では浸透していないと思う。広報などを活用し情報提供し市民へ広げていくべきだと思う。
(母親連絡会 伊藤)
- ・審議会などを市民に知っていただき女性にも関心のあるところに入ってもらってよう誘導していくことか必要だと思う。市職員と市民が協働し行政課題を解決していく必要があると思う。(女性センターを実現する会 佐藤)
- ・男女共同参画サポーター養成講座に企業が職員を派遣しているデータなどを出していくこといいのではないかと思う。(JA 女性部 葛巻)